

出席：小佐野・石川・小西・三角・松村・渡部・中江・
オブ参加：隈（全国理事）・高橋（26 期理事夏季大学担当）

1 第 28 回夏季大学の進捗状況について

第 26 期常任理事で夏季大学の計画を担当した高橋氏からこれまでに実施した各府県教育委員会等への協力依頼や受講生の募集状況について説明があり、さらに当日のスケジュールと担当割り当てが示された。作業分担については担当者に周知徹底することになった。

既にテキスト 250 部は印刷が済んだが、現時点での受講申し込み人数が約 30 名と少なく、引き続き大学や高校関係を中心に声をかけていくこととした。

2 研究グループ助成について

第 26 期常任理事会での議論を踏まえ、関西支部として行う研究グループ助成と奨励金については一本化することが望ましいとされた。今後は研究グループ助成の発端や必要性を当時の状況に詳しい方から聴取するとともに、日本気象協会からの奨励金の流れについても確認のうえ、次回常任理事会に来年度からの扱いについて提案できるよう検討を進めることになった。

3 メーリングリストの活用法

会員からメーリングリストを使った投稿依頼を行う場合は、まず事務局（常任理事会）に投稿内容を提示し、事務局が適当と判断した場合に許可することとした。適当と判断される内容はたとえば・教員、研究員の公募 ・研究会のプログラム ・研究会の講演募集 などである。

支部ニュースの発行や支部の行事（総会、例会）など、支部からの連絡、お知らせについては当然ながらこのメーリングリストを活用する。

4 支部ニュースの第 253 号について

支部ニュース第 253 号は 8 月 20 日前後の発刊を目指し、概ね以下の内容とすることとした。

- ・ 2006 年度関西支部理事会報告
- ・ 2006 年度関西支部総会・年会報告
- ・ 第 27 期第 1 回常任理事会報告
- ・ 2006 年度関西支部例会・講演会開催のお知らせ（広島、高松）及び研究発表募集
- ・ 関西支部第 28 回夏季大学報告
- ・ 2006 年度関西支部調査研究奨励金の授与候補者の募集結果
- ・ 2006 年度刊行物の販売
- ・ バックナンバー情報

5 その他

学会の活動に詳しく、また昨年度の秋季大会など積極的に関与していただいた神戸大学の山中前常任理事が今春転出されたこともあり、石川常任理事から年間スケジュールの確認や責任体制の明確化を行って円滑な支部運営を行うことが大切との発言があった。